



DAISEN
CITY

だいせん

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



内小友地区緑のカーニバル

コミュニティ会議会員、老人クラブ会員、内小友小学校児童、内小友保育園園児等によるゴーヤの植栽作業を通して、身近でできる省エネ対策と世代間交流を行いました。



内 容

CONTENTS

- 第2回定例会の概要 2～3
- 一般質問 4～6
- 議会のうごきほか 7
- 委員会審査のあらまし 8～9
- 市民の声、編集後記ほか 11～12

茂木 隆 議長逝去



茂木隆議長(大仙市協和稲沢字稲沢・69歳)は去る7月15日に逝去されました。

故人は平成11年4月に協和町議会議員に初当選。以来、合併後も大仙市議会議員として通算7期16年4カ月にわたり務められました。

この間、文教社会常任委員会委員長、企画産業常任委員会委員長、広報広聴常任委員会委員長として、また平成29年10月からは議長として議会並びに委員会の円滑な運営に尽力されました。

ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

第2回定例会

第2回定例会は、5月28日(火)から6月17日(月)までの21日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われ、市当局提出の人事案1件を同意しました。

本会議4日目に、条例案4件、単行案4件、補正予算案2件をそれぞれ原案可決したほか、請願1件、陳情1件をそれぞれ採択、意見書案2件を原案可決しました。

一般質問では5人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。

※第2回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。
(市議会トップページ → 議会中継(映像アーカイブズ))

人事案

▼教育委員会委員の任命について

【全会一致で同意】

工藤 浩一氏(協和小種Ⅱ再任)

条例案

▼大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

入湯税や軽自動車税の課税免除に係る規定を整備しました。

▼大仙市特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

国会議員の選挙等の執行経費基準の見直しに倣い、投票所の投票管理者などの報酬の額を改定しました。

▼大仙市八乙女温泉さくら荘条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

八乙女温泉さくら荘について、施設の位置を隣接する八乙女交流センター内に移設し、あわせて使用料の額を改定しました。

入浴料(指定管理者が徴収する額)は、大人(中学生以上)300円、小人(小学生)150円程度になる見込みです。

単行案

▼大曲武道館建設(建築)工事請負契約の締結について

【全会一致で可決】

3億7400万円、興栄・高吉・さとう特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結することを議決しました。

▼(仮称)大綱交流館等整備事業建築工事請負契約の締結について

【全会一致で可決】

7億1368万円、丸茂組・佐々木組・高禮建設特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結することを議決しました。



(仮称)大綱交流館完成予想図

第2回定例会の概要

補正予算

▼令和元年度大仙市一般会計補正予算(第2号) 【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億6300万6千円を追加し、補正後の総額は439億3544万8千円となりました。

主なもの

●総務一般管理費(嘱託職員の配置増に伴う賃金・共済費) 5640万3千円

●秋田キャラバンミュージックフェス2019関連経費(高橋優氏主催の野外音楽フェス開催に伴う経費) 6293万円

●森林経営管理制度事業費(森林経営管理制度の開始に伴う森林所有者への意向調査、地域林政アドバイザー業務の委託と基金積立金) 2342万円

●岩瀬・湯野沢地区宅地造成事業費(造成宅地内のインフラ整備工事費と分譲地確定測量等委託料) 6223万7千円

●校舎等維持補修及び施設整備費「小学校費」(太田東小学校高圧受電設備改修費) 2420万9千円

●校舎等維持補修及び施設整備費

「中学校費」(大曲西中学校高圧受電設備改修費) 3130万7千円

▼令和元年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ518万4千円を追加し、補正後の総額は6709万3千円となりました。

ペアリフト減速機付近から油漏れが発生したため、修繕経費を補正したものです。

請願

▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の請願について 【全会一致で採択】

陳情

▼地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情 【全会一致で採択】

第2回臨時会

第2回臨時会が4月26日(金)に招集され、市当局提出の専決処分報告3件を承認、単行案3件、補正予算案1件を原案可決しました。

▼財産の取得について

【3件とも全会一致で可決】

・消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車4台。取得金額は2406万2400円で西仙北地域、中仙地域、太田地域の積載車が更新されます。



西仙北地域、中仙地域、太田地域に配備される軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車

・除雪機械(除雪ドーザ14トン級)2台。取得金額は4004万円で協和地域と南外地域に配備します。



協和地域・南外地域に配備されるものと同型の除雪ドーザ

・除雪機械(除雪グレーダ4・0メートル級)1台。取得金額は3289万円で協和地域に配備します。



協和地域に配備されるものと同型の除雪グレーダ



秩父 博樹 議員（公明党）

Q 若者政策へ実質的な予算を割り当てるべき

A 大仙市にベストな形を調査・研究する

質問 若者の意見を積極的に取り入れ、実質的な予算を割り当てる体制づくりについて、市の考えを伺う。

市長 市のホームページや SNS、コミュニティFMなど、さまざまな媒体を活用し、市の取り組みを若い世代にも知っていただけるよう努めている。

また、「第2次大仙市総合計画基本構想」の策定に当たっては、市内の中学生や高校生以上の市民を対象にしたまちづくりに関するアンケートを実施しており、若者を含む多くの世代の意見を計画に反映させていただいている。

このほか、市政への興味や関心を持っていただくため、将来のまちづくりの担い手となる中学生が“議長や議員”となり、まちづくりや教育行政など生徒に身近なテーマについて、市に対し一般質問を行う中学生議会を開催しているほか、平成28年度には、

大仙教育メソッドを定め、地域活性化に寄与できる子どもの育成と、その能力を生かす取り組みを進めている。

各地域においては、「四ツ屋青年塾」「にしせん未来塾」「なんがい若者会議」「弘田柵真会」など、若い世代がまちづくりに関心を持ち、主体となって地域の活性化活動に参画する事例が増えてきており、実際に市の施策に結びついた取り組みも出てきている。各地域で既に趣旨を同じくする若者による動きが出てきているほか、若者から市政に関心を持っていただくためのさまざまな取り組みも実施していることから、まずはこれらの取り組みをしっかりと前に進めることが重要と考えている。

併せて、多くの若者の意見や新しい感性、価値観等を政策に反映できる新たな仕組みについて、どのような形が大仙市にとってベストなのかを、今後、先進事例等を調査しながら研究していく。

※このほか、肝炎ウイルス陽性者の早期発見及び重症化予防について、業務の自動化RPAの導入について質問しました。



小松 栄治 議員（新政会）

Q 未使用財産の整理は

A 有効な利活用に取り組みたい

質問 土地・建物の借受・貸付財産の件数、面積、金額と今後の処分と整理、また、未使用財産の処分や整理区分について伺う。

総務部長 有償の借受財産は土地・建物合わせて119件、206万3,475平方メートル、年額約8,673万円である。一方、有償の貸付財産は土地・建物合わせて113件、66万4,066平方メートル、年額約2,717万円である。借受と貸付の差額が約6千万円と非常に大きく、支払いは一般財源からのため非常に注視している。単純に金額だけでは比較できない部分もあるが、社会情勢や行財政運営を鑑み利用実態を精査し、場合によっては取得または返還等の協議を進め、貸付財産や未利用地は売却を基本とし、財産の有効活用を進めていく。また議員提案の公共施設の処分方法として予定価格のマイナス入札や土地の低価格売却なども研究し、今後検討してまいりたい。

◆首都圏ふるさと会と大仙市との相互の支援について

質問 首都圏ふるさと会の会員・出席者の増加策や、大仙市との相互支援について伺う。

企画部長 各ふるさと会の会員は高齢化が進み、近年の会員数や総会出席者は横ばいである。今後は首都圏の大仙市出身の学生や就職された方々、出稼ぎ者や歳祝いの年代の方々への声掛け、また市のホームページを活用して情報提供・情報発信をしていく。

◆大仙市の創生と人口減少について

質問 外国人雇用の相談や支援を行っているか。

市長 企業向けの外国人雇用セミナーや、在留外国人のための日本語講座の開講で、安心して就労・生活できるよう環境整備に力を入れていく。

質問 首都圏から大学や研究所の誘致、または新設ができないか。

市長 大学等の誘致は財政状況を鑑み現段階では大変難しいが、人口減少の抑制と地方創生の推進から有効な施策であり、今後、研究施設等の誘致も含めその可能性について模索し、検討をする。

※このほか、防災対策について質問しました。



古谷 武美 議員 (だいせんの会)

Q JR大曲駅に下りエスカレーターを設置できないか

A 技術的課題解決のために調査検討したい

質問 大曲駅の階段は少しくつめとなっており、高齢者の方々は大変な思いで降りている。スムーズな人の流れと危険防止のために、下りエスカレーターを増設できないか。

市長 平成9年の秋田新幹線開業当時は駐車場確保など立地や事業費の制約により、昇りエスカレーターのための設置となっている、現在では高齢化など、社会情勢の変化で下りエスカレーターの必要性が高まっている。これまでJRと設置について検討しているが、構造上の問題から駅舎本体の改造に加え、JR所有部分の制約もあり実施できなかった。しかし、高齢者や障がい者などの安全確保と利便性向上を図るため、まずは利用者の多い西口への設置について課題解決に向け、調査検討していく。



大曲駅エスカレーター

◆大仙市表彰規則及び表彰基準について

質問 著名な方々に市政誕生周年記念式典の場で表彰状・感謝状を贈呈していて喜ばしいが、各地区で地道にボランティアをしている方にも目を向けていただき、市長から贈呈いただくことで少しでも励みになればと思ひ、多くの市民や団体に感謝状等を贈呈できないか伺う。

市長 全国大会やオリンピックで活躍した個人・団体や消防団、交通指導隊、防犯指導隊など長年にわたり市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに寄与した皆さまや、貴重な歴史的資料など寄贈いただいた皆さまに感謝の意を表すため「感謝状」の贈呈を行っている。

今後は、提案のとおりさまざまな地域貢献されている方々にも光が当たるよう関係団体と連携しながら広く調査し、それぞれの分野で表彰となるよう、大仙市誕生15周年記念式典表彰選考委員会で検討していく。



挽野 利恵 議員 (公明党)

Q 大人版「共通シーズン券」を創設できないか

A 難しいが、今後のスキー場運営の判断材料とする

質問 大仙市内のどのスキー場でも利用できる「小中学生シーズン券」があるが、生涯スポーツの観点から大人版「共通シーズン券」を創設できないか。子どものスキー練習に付き添う保護者等に対して、「リフト券割引制度」を創設できないか。

生涯学習部長 子どもたちの利用実績に応じて市が負担する「小中学生シーズン券」とは違い、一般向けシーズン券は購入される個人が負担するものであり、三つのスキー場とも指定管理となっている会社が別々であることから、それぞれのスキー場で「一般シーズン券」と「シルバー向けシーズン券」を発行しており、市内共通とはなっていない。これを共通利用とした場合、各シーズン券を案分することは難しく、料金を引き上げる要因となることも懸念されることから、今後のスキー場運営に関する判断材料としていく。

子どもの練習に付き添う保護者へは、スキー場指定管理者の協力による「大仙市子育て支援 親子シ

ーズン券」があり、子ども1人当たり保護者2名まで40～69パーセントの割引をしている。利用頻度の少ない保護者等への割引制度については、他地域での「親子ペア券」等と比較して、本市では子どもの分が既に無料となっているため、トータルの割安になっていると捉えている。割引制度の拡大については指定管理者の裁量によるので、協議していきたい。

◆災害備蓄品について

質問 災害備蓄品は市内各避難所に配置されているが、1カ所でまとめて管理されているものもある。どのような基準で配備しているのか。本年3月に発売された乳幼児向けの液体ミルクを災害備蓄品に加えられないか。

生涯学習部長 タオルやおむつなど、スペースの関係で1カ所にまとめて配備していたが、計画的に分散備蓄を進めており、災害時に迅速に活用できる体制を整備しているところである。備蓄品目や数量は、県と県内市町村の共同備蓄の数量を確保している。分散基準はないが、人口や施設の受け入れスペースなどに応じて決定をしている。

乳幼児用にはスティック式の粉ミルクを備蓄しているが、液体ミルクは災害時の清潔な水や哺乳瓶の消毒が難しい状況下で有効である。使い捨て哺乳瓶と併せての購入を検討する。(※第2回定例会後、すぐ購入し備蓄されました)



佐藤 文子 議員（日本共産党）

Q 保育園給食の実費化には公費負担を

A 県と協働で一部助成してまいりたい

質問 幼児教育の無償化に伴い実費化される給食のおかず代について、保護者や施設の負担とならないよう公費負担を求めるが見解を伺う。

市長 無償化の実施に当たり、3歳以上児の給食費について保育料の一部に含まれていた副食費を無償化から切り離し、10月以降実費徴収とする方針が示された。県ではすこやか子育て支援制度を拡充することによって給食費の一部を支援する方向で調整し、係る経費を6月県議会に提出している。市としても県と協働で一部助成してまいりたい。

◆放課後児童クラブ利用料の引き下げを

質問 放課後児童クラブは、低学年では児童数の約5割が利用しており需要が年々高まっている。その利用料は1人当たり月6千円となっているが、自治体によってまちまちで格差も大きい。近隣市町並み

に引き下げよう求める。

西山副市長 利用料は県内自治体でも直営方式や、民間運営など実施形態の違いもあり、月2千円から2万4千円までかなりの差が生じている。国の実施要綱上も必要な経費の積算は各自治体に委ねられているが、受け入れ人数の増加やクラブの新設・増設、また、10月予定の消費税率改定、当市の児童クラブの質を確保する観点から、現行利用料は据え置きたい。

◆大仙市奨学資金の返済免除について

質問 大学卒業者を対象とした時限的な条例である「ふるさと就職者奨学金償還免除制度」を恒久的な制度として、高校卒業者にも拡大適用するよう求める。

教育長 県や県内一部の自治体では人口減少対策、定住対策の一環として奨学金返還に関する免除制度や補助制度を実施しているところがあるが、その状況を注視するとともに、制度創設には恒久的に多額の財源も要するため、慎重に見極めた上で、移住・定住に関する総合的な施策の中で対処する必要がある。

3名の議員に永年勤続者表彰

6月11日に開催された「全国市議会議長会 第95回定期総会」で、児玉裕一議員が在職20年以上、大山利吉議員が在職15年以上、石塚柏議員が在職10年以上の功勞により表彰を受けられ、第2回定例会4日目の本会議開会前に、茂木隆議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



大仙市議会「市政懇談会」を開催しました

6月24日～28日までの5日間、大仙市議会「市政懇談会」を開催しました。

議員が5班編成で市内10カ所に出向き、議会の活動状況や令和元年度予算について報告し、市民の皆さまからは、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。

詳細については、後日、市議会だより第58号でお知らせいたします。

「市政懇談会」への出席者数

開催日	場 所	人 数
6月24日(月)	南外コミュニティセンター	19人
	協和支所	26人
6月25日(火)	大川西根公民館	3人
	藤木公民館	13人
6月26日(水)	神岡福祉センター	18人
	花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」	14人
6月27日(木)	西仙北支所	27人
	中仙農村環境改善センター	9人
6月28日(金)	おおたコミュニティプラザ	14人
	史跡の里せんぼく さくまる館	14人
計		157人



市政懇談会の様子

議会の動き

4月

- 1日 正副委員長会議
議員全員協議会
- 10日 広報広聴常任委員会
議会改革推進会議
- 15日 広報広聴常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 建設水道常任委員会「所管事務調査」
- 23日 議会改革推進会議
総務民生常任委員会「所管事務調査」
- 26日 第2回臨時会
会派代表者会議
企画産業常任委員会「所管事務調査」
教育福祉常任委員会「所管事務調査」

5月

- 15日 企画産業常任委員会「所管事務調査」
- 22日 議会運営委員会
- 28日 第2回定例会（第1日）
議員全員協議会
広報広聴常任委員会

6月

- 6日 第2回定例会（第2日）
議会運営委員会
- 7日 第2回定例会（第3日）
広報広聴常任委員会
- 10日 各常任委員会審査
企画産業常任委員会協議会「所管事務調査」
教育福祉常任委員会協議会
建設水道常任委員会協議会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 第2回定例会（第4日）
企画産業常任委員会協議会
議員説明会
- 24日 市政懇談会（南外地域・協和地域）
- 25日 市政懇談会（大川西根地区・藤木地区）
- 26日 市政懇談会（神岡地域・大曲地域）
- 27日 市政懇談会（西仙北地域・中仙地域）
- 28日 市政懇談会（太田地域・仙北地域）

企画産業常任委員会

条例案2件、補正予算案1件を審査しました。

●大仙市八乙女温泉さくら荘条例の一部を改正する条例の制定について

【問】八乙女交流センターに移行後、さくら荘の建物をスポーツ時の休憩所としてはどうか。この件に限らず、統廃合に当たっては、新しいものと古いものをセットにして進めていただきたいが。

【答】さくら荘については、令和2年度に解体する計画になっているが、休憩所としての利活用についても検討させていただきたい。



八乙女温泉さくら荘

●令和元年度大仙市一般会計補正予算（森林経営管理制度事業費）

【問】経営管理実施権の委託先は、どのようにして決まるのか。

【答】委託先については、県が公表している民間事業者の中から公募を行い、市が選定していくことになる。

【問】登記の相続が行われていない等により所有者不明である森林の取り扱いについては、どのように対応していくのか。

【答】奥山部分に要整備森林があるが、里山部分の相続者が不明であるなどの理由で事業実施が困難である場合については、公告や県の裁定を経て同意みなしとして事業を実施することが可能であることが、森林経営管理法で整備されている。

総務民生常任委員会

条例案2件、単行案1件、補正予算案1件、陳情1件を審査しました。

●大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について

【問】軽自動車税の種別割の課税免除で、商品であって使用しない軽自動車等とは具体的にどういうものか。

【答】ナンバーを取得して、ショールームに展示されている車等であるが、現時点で大仙市では該当する車はない。

●大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【問】選挙の各種管理者等の報酬を改正する内容だが、この改正により今年行われる参議院選挙費用の補正の必要はないのか。

【答】今回の改正により報酬が総額で約9万円増となる見込みだが、当初予算の中で対応可能である。

●令和元年度大仙市一般会計補正予算（総務一般管理費）

【問】嘱託職員増員による共済費と賃金の補正だが、嘱託職員が増員となった理由は何か。

【答】定年退職者のうち再任用を希望しない職員がいたほか、新規採用職員の合格発表後に辞退者が出たことなどにより、その補充が必要となり嘱託職員が22名の増員となった。

●陳情第26号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」としました。

建設水道常任委員会

補正予算案1件を審査しました。

●令和元年度大仙市一般会計補正予算 (岩瀬・湯野沢地区宅地造成事業費)

【問】宅地造成に要する事業費は、宅地の分譲価格に反映されるのか。

【答】これまで掛かってきた上下水道の整備を含む工事費、測量設計費など、全てについて分譲価格に反映される予定である。

【問】事業費が予想よりも高額になっているが、移転される方々が分譲価格に対して、尻込みするようなことはないか。

【答】これまで何回か、移転される方々に説明会を開いており、おおよその上限額を示している。今現在で試算すると、その上限額にはならないので、移転される方々の了承は得られるものと考えている。

【問】移転される方々の家屋の建設は、来年度以降になるのか。

【答】国土交通省の移転補償の関係もあり、その契約が進まないと、移転する費用を捻出できないと思われる。いつからとは言えないが、来年度中には、移転される方々が家屋を建設するものと考えている。



宅地造成地(2枚とも)

教育福祉常任委員会

単行案3件、補正予算案2件、請願1件を審査しました。

●大曲武道館建設(建築)工事請負契約の締結について

【問】建設する敷地はこれまでと同じだが、競技場部分の広さは従前の建物と変化はあるのか。

【答】少しでも広めにということを心掛けて設計しているが、スペースが限られているので、実際に見ると今までとそんなに変化なく感じられると思う。

●(仮称)大綱交流館等整備事業建築工事請負契約の締結について

【問】公民館のほかに綱引きの施設を建設するということであるが、単純にその建設費用が増加することになるのか。

【答】公民館機能を持った「大綱交流館」、その隣に綱引きの綱を制作する「大綱の里伝承館」を建設するため、設計額が高くなる要因となっている。

●令和元年度大仙市一般会計補正予算 (プレミアム付商品券事業費)

【問】商品券を利用する場合、購入品目等に制限があるのか。

【答】プリペイドカードなどの換金性の高いものや、たばこの購入などには利用できない。

【問】3歳未満児の対象者の認定が、当初予定されていた今年の6月1日生まれまでから、9月30日までに拡大されたが、この変更により対象になったことを承知しておらず、申請がない場合を懸念する。乳幼児検診や妊婦検診の際に周知徹底を図った方が良いのではないか。

【答】3歳未満児については、申請が必要な低所得者分とは違い、住基情報で対象者を確認し、対象世帯に購入引換券を申請なしで直接市の方から送付することになるので、申請漏れは想定しなくてもよいと考えている。

●請願第11号、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」としました。

平成30年度政務活動費会派別収支状況

- 政務活動費は会派ごとに交付されており、交付額は1人当たり月15,000円です。
- 収支の内容は毎年度議長に報告され、残額がある場合は市に返還することになっております。また、不足する場合は、不足分を自己負担としております。
- 市民の方ならどなたでも閲覧できますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(単位:円)

会派名		だいせんの会 (7人)	大地の会 (6人)	新政会 (6人→5人)	日本共産党 (2人)	市民クラブ (2人)	公明党 (2人)	創生会 (2人)	地域住民の会 (1人)
項目									
会派への交付額		1,260,000	1,080,000	1,035,000	360,000	360,000	360,000	360,000	180,000
支出額		1,260,000	973,948	788,237	177,882	326,619	358,754	218,611	163,311
内 訳	調査研究費	1,208,500	960,847	781,571		323,953	354,053	217,277	161,977
	研修費								
	広報費				177,882				
	広聴費								
	要請・陳情費								
	会議費								
	資料作成費								
	資料購入費								
	その他の経費	51,500	13,101	6,666		2,666	4,701	1,334	1,334
返還額	0	106,052	246,763	182,118	33,381	1,246	141,389	16,689	

※「新政会」は、所属の議員1名が12月に辞職したため、1月～3月分(45,000円)が返還されました。

【政務活動費の項目解説】 (支出のあったもの)

- ・ 調査研究費：市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- ・ 広報費：活動、市政について住民に報告するために要する経費
- ・ その他の経費：内訳に記載以外の経費で、調査研究・その他の活動に必要な諸費



ようこそ 大仙市へ

行政視察の受け入れ状況をお知らせします。

【4月】

25日 岡山県笠岡市議会【※高橋副議長出席】
(小中学校における学力向上の取り組みについて)

【5月】

7日 奈良県五條市議会 【※茂木議長出席】
(小中学校における学力向上の取り組みについて)

15日 神奈川県座間市議会【※茂木議長出席】
(小中学校における学力向上の取り組みについて)

17日 静岡県長泉町議会 【※茂木議長出席】
(学力向上の取り組みについて)

21日 埼玉県上尾市議会【※吉川教育長出席】
(小中学校における学力向上の取り組みについて)

【7月】

3日 茨城県土浦市議会【※高橋副議長出席】
(奥羽グラウンド・ゴルフ場の運営について)

4日 富山県滑川市議会
【※秩父企画産業常任委員長出席】
(新規就農者の支援及び農業の後継者対策について)
(大仙市農業振興情報センターについて)

小学生議場見学会 市議会を見学してみよう!!

日時

令和元年8月7日(水)、8日(木)

各午前10時～お昼頃

場所

大仙市役所3階 市議会各施設

対象

小学校1～6年生 要保護者同伴
※定員各30名



■申し込み・問い合わせ

大仙市議会事務局 TEL.0187-63-5030

9月定例会日程のお知らせ

9月2日(月) 本会議第1日(市政報告、議案等上程)

9月11日(水) 本会議第2日(一般質問)

12日(木) 本会議第3日(一般質問・議案質疑、委員会付託)

13日(金)・17日(火) 常任委員会審査

20日(金) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。

変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費(4月1日～6月30日)

項目	件数	金額
予算額		900,000円
支出額	40件	250,346円
内訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	22件 140,440円
	協賛	17件 99,906円
予算残額		649,654円

市民の声

6月に地域の自治会連合会の集まりがあった。そこでの意見交換では会長さんたちから悩み事が披露された。「最近、どこでも空き家が増えてきた」「傷みがひどい空き家を、誰が管理しているのか不明の場合がある」「隣近所との会話が少なくなつて、隣の家族の勤め先や家族の名前が分からなくなつてきた」「若い人が越してきて喜んでいたら町内会に加入してくれない。町内会が管理しているゴミ集積所の利用は、どうするのだろうか」。これらは、行政に助けを求めても解決が難しい。デリケートな事だけに悩ましい限りだ。

かつて近所付き合いは、冠婚葬祭を軸に回っていたように思う。だが、結婚式にあつては、ここ十年近く招待状が届かない。反面、悲しい知らせは年を追って多くなる一方だ。葬儀が隣近所からの手伝いが頼りであった頃は、向こう三軒両隣とは濃密な付き合いから成り立っていた。でも、最近では、いわゆる近所の手伝いは少なくなつてきたようだ。料理自慢の町内のおばさんに代わつて、仕出し屋さん

が活躍する。外手伝いやお寺との交渉は葬儀屋さんが手際よくやってくれる。住宅事情もあつて、自宅から出棺というのも少なくなつた。隣近所や町内の人たちの出番は、かつての話になつてきた。このように近所付き合いが希薄になつてきて、これからの自治会や町内会は、何を手掛かりに進めたらいいのだろうかと悩む。マスクミではコミュニティの記事が多くなつてきた。東日本大震災直後には「絆」という言葉を頻繁に見聞きし



(中仙地域・男性)

た。でも「絆」の漢字の意味は、「馬の足にからめて縛るひも」のことであり、また「人を束縛する義理・人情の例え」、あるいは「縛つて自由に行動できなくする」ことだという。

村田英雄は『義理がすたればこの世は闇だ』と歌った。「何があつてからでは遅い。その前に町内の人たちの顔や名前を知っておきたい」「義理でもいいから、町内会の行事や事業に参加してほしい」。会長さんたちの本音が聞こえてくる。



編集後記

「FMはなび」から流れる声に、聞いたことがあるな〜と思ったら、老松市長が一般質問に答えているものでした。作業しながら市長と議員のやりとりを最後まで聞きました。へ〜、こんな質問をしているんだ。ラジオで放送されるっていいよね〜と、農家のお嫁さんから、こんなうれし

い声掛けをしていただきました。議会の様子をさまざまな形で発信し、進化させようと努力をしています。ノーマット版は本会議当日の中継と、FMはなびでの録音放送です。仕事の手を休めることなく、聞くともなしに聞こえてくる議会中継を耳にする方が増えることを願うものです。

(委員 佐藤 文子 記)

広報広聴常任委員会

委員長 後藤 健

副委員長 高橋 徳久

委員 小笠原昌作

委員 佐藤 隆盛

委員 挽野 利恵

委員 佐藤 文子

委員 佐藤 育男

委員 古谷 武美

委員 渡邊 秀俊

委員 橋村 誠



橋村 誠

【訂正とお詫び】

「市議会だより」第56号10ページ一般質問の記事中に一部誤りがありましたので、次のとおり訂正しお詫びいたします。【誤】太平山→【正】大平山